

# 老年期の人々における存在論的恐怖への対処方略

— 4つの不安緩衝装置の選択傾向の検討 —

○戸谷彰宏・中島健一郎

(広島大学大学院教育学研究科)

## 問題

人は自身の死の運命を意識せずにはいられず、その運命に恐怖を抱く。Terror Management Theory (TMT; Pyszczynski et al., 2015) ではこの恐怖を存在論的恐怖と呼び、人間はその対処の為に死の不安緩衝装置を持つと主張している。死の不安緩衝装置として主に指摘されているものは①文化的世界観 (集団内の人々に共有されている現実についての信念; Solomon et al., 2004), ②自尊心 (文化的世界観の規範に従い、自身が有意義な世界の価値ある成員であるという感覚; Pyszczynski et al., 2015), ③親密な他者との関係性である。実際に死の意識を高めると (MS 操作), これらの機能を強く求めることが示されている (Pyszczynski et al., 2015)。また高齢者では④世代継承の重要性も示されている (Maxfield et al., 2014)。

TMT 研究では、それぞれの死の不安緩衝装置が個別に検討対象とされてきた。しかし日常場面に目を向ければ、様々な死の不安緩衝装置が存在する中で、個人にとって最も重要であるものを自由に選択できる。すなわち、個人内での相対的な用いられやすさが異なることが想定される。この検討は、TMT の理論的拡張と共に現実での行動予測に役立つ知見を提供する点で重要である。

本研究では日本の老年期の人々に着目し、4つの死の不安緩衝装置の相対的な用いられやすさを検討する。文化的世界観、自尊心、親密な関係性に関する主要な知見は、大学生を対象としたものが多い。しかし Maxfield et al. (2007) は若者が MS 操作後に文化的世界観の防衛反応を行うのに対して、高齢者では行わないことから、両者は MS 操作に異なった反応を示すことを示唆している。Erikson (1950) によると、人は中年期から世代性が発達課題となり、老年期はこれを引き継ぐとされる。実際に Maxfield et al. (2014) では高齢者が MS 操作により世代性への関心を高めることを示している。これらより本研究では、老年期の人々は MS 操作により世代継承性を最も求めるようになると予測する。この際、先行研究から想定できる調整変数との関連についても検討した。

## 方法

**参加者** 日本の老年期 (65 歳以上) の人々 206 名 (女性 53 名, Mage = 70.5) を分析対象とした。

**手続き** Web 調査を行い、PC 上で以下に示す順序で回答を求めた。(1) 調整変数への回答を求めた; 一般他者版愛着スタイル尺度 (中尾・加藤, 2004), 自尊感情尺度 (山本他, 1982), 関係自尊心尺度 (Du et al., 2012), 独立・相互依存的自己理解尺度 (木内, 1995)。(2) 実験操作として自由記述式の質問への回答を求めた (e.g., Greenberg et al., 1990)。MS 条件では死に関する内容、統制条件では休日のライフスタイルに関する内容であった。(3) 遅延課題 (e.g., Greenberg et al., 1994) として、気分測定 (Lambert et al., 2014) とワードサーチパズル (e.g., Arndt et al., 2002) を行った。(4) 反応の選択課題として文章作成を求めた。文章を作成する際、文化的世界観、自尊心、親密な関係性、世代継承に関するトピックから、今最も書きたいと思うものを 1つ選ぶように教示した。

## 結果と考察

各実験群 (MS・統制) と選択トピック数のクロス表に対する  $\chi^2$  乗検定は非有意であった ( $p = .60$ )。次に調整変数との関連を検討するため、実験操作 (0 = 統制, 1 = MS), 調整変数, それらの交互作用を説明変数, 選択したトピックを目的変数とした多項ロジスティック回帰を行った。分析の結果、愛着スタイルとの関連が認められた (Table 1)。世代継承性を求めるという予測は支持されなかったが、愛着スタイルによって反応が異なることが示された。

Table 1 愛着スタイルごとの実験操作とトピック選択の関連

基準カテゴリー	親密な関係性	
	文化的世界観	自尊心
愛着不安・高		
愛着回避・高	-2.31 *	-2.56 *
愛着回避・低	0.84	0.73
愛着不安・低		
愛着回避・高	0.55	-0.03
愛着回避・低	-0.03	-0.8

注: 有意な効果が認められたもののみ記載。

\*\*  $p < .01$ , \*  $p < .05$ , †  $p < .10$